

平成29年度 山形県立産業技術短期大学校庄内校
卒業研究発表会プログラム

平成30年2月13日(火) 開会 (13:00~)

学科名 制御機械科

番号	時間	テーマ	要 旨	発表学生	指導教員
1	13:10 ~ 13:38	エコラン競技車両の製作	本田宗一郎杯 Hondaエコマイレージチャレンジ全国大会出場に向けた車両を製作する。	伊藤 瑞季 小池 隆馬 野口 詩乃	津田 勇
2	13:39 ~ 13:59	VR(仮想現実感)を用いた仮想サイクリングシステムの構築	スマートフォンを利用したVRヘッドセット技術とエアロバイク、マイコン技術を組み合わせ、体感型の仮想サイクリングシステムを構築する。	板垣 元基 後藤 泰智	新居 徹哉
3	14:00 ~ 14:14	画像処理で物体検知を行うパラ積みロボットの製作	小型卓上スカラロボットと学習型の画像認識システムを組み合わせ、非工業分野にも広く活用可能な作業支援ロボットの開発を行う。	伊原 弘雅	
休 憩 14:15~14:25					
4	14:25 ~ 14:39	圧縮試験による骨の力学的特性と骨密度の関係評価	骨の強度は骨密度と骨質に相関があるといわれている。本研究では壊死骨の力学的特性を評価するための第一段階として、圧縮試験で得られる実験結果と骨密度の関係について検討を行う。	赤塚 尚稀	小笠原 誠
5	14:40 ~ 14:54	表示器を活用した制御装置の制御と監視	プログラマブルコントローラによるシーケンス制御装置を視覚化、集約管理などを可能にする表示器を使用した制御装置の試作を行う。	齋藤 拓海	佐藤 義則
6	14:55 ~ 15:09	マイクロメータ測定ビデオ教材の開発	ものづくりの現場において欠かせないマイクロメータについてのテキスト、問題集、ビデオ教材の開発を行う。	数田 千裕	飛田 成浩
7	15:10 ~ 15:30	競技用コマの開発~全国製造業コマ大戦に向けたコマの開発~	全国製造業コマ大戦に向けた競技用コマの設計、開発を行う。	富塚 健太 本間 翼	
8	15:31 ~ 15:45	技能検定機械検査2級実技計画立案等作業試験(旧ペーパー試験)の教材開発	過去、計画立案等作業試験(旧ペーパー試験)で出題された問題の類似部品を製作し、作業手順および測定具の使い方などをテキストにまとめた。	田村 臣平	

15:45 講 評
16:10 閉 会

平成30年2月14日(水) 開会 (9:00~)

学科名 国際経営科

番号	時間	テーマ	要 旨	発表学生	指導教員
1	9:05 ~ 9:25	自動車教習所の経営モデルから見る現状と課題の考察	少子化や若者の車離れなども影響して、自動車教習産業は縮小の一途をたどっている。この業界に関する先行研究は少なく、10年以上前の状況を扱ったものがほとんどである。本研究では、最近の自動車教習所の経営モデルを分析し、それらの現状や課題、今後の動向を考察する。	福島 聡	佐々木 健
2	9:25 ~ 9:45	観光者数に着目した道の駅を取りまく環境要因分析	人口減少の進行に伴って地域経済の衰退が懸念される中、山形県の観光地の一つとして道の駅が注目されている。その中で観光者数の動きに特徴のある2つの道の駅に注目し、どのような環境要因があり、その中でどのような戦略を展開しているのか分析していく。	村山 未久	高橋 永子
3	9:45 ~ 10:05	棚卸資産会計における後入先出法に関する一考察	棚卸資産会計基準において、評価方法の1つである「後入先出法」の使用が2008年に禁止されている。そこで、なぜ使用が禁止されなければならなかったのか理由を明らかにしつつ、採用企業への影響を視野に入れた、今後のあり方について考察していく。	鈴木 晴桂	鷹薙 直也
休 憩 10:05~10:15					
4	10:15 ~ 10:35	アニメを利用した町おこしに関する一考察	アニメを利用した「町おこし」に取り組んでいる全国の市町村の中で、特に盛り上がりが見える茨城県大洗町を中心に、その成功要因の調査・研究を行い、山形にどのように活かす事ができるかについて考察を行う。	渡部 亮太	吉田 勝紀
5	10:35 ~ 10:55	上場企業における不正会計の事例研究 - 調査報告書を手がかりに -	近年、内部統制制度が整い不正の発生可能性が低いと考えられていた上場企業において、不正会計が多発している。本研究では企業から公表された調査報告書を読み解き、不正会計の発生要因の分析をおこなっていくとともに、分析結果からみえる内部統制制度の限界についてもあわせて考察をおこなう。	齋藤 尚樹	原田 文規
6	10:55 ~ 11:15	エネルギー基本計画に関する考察	我が国が抱えているエネルギー問題として、他国に化石燃料などを輸入依存していることや技術革新による中長期的なエネルギー需要が変化していることがあげられる。エネルギー基本計画について整理し、今後いかんにかしていくべきかについて考察する。	武田 翔	佐藤 圭治

11:15 講 評
11:30 閉 会

平成30年2月14日(水) 開会 (13:00～)

学科名 電子情報科

番号	時間	テーマ	要旨	発表学生	指導教員
1	13:05 ～ 13:10	競技会の説明	電子情報科の学生が参加した「若年者ものづくり競技大会」および「技能五輪全国大会」などの競技会について説明する。	佐藤 瑠偉	全 員
2	13:10 ～ 13:20	競技会参加報告 「若年者ものづくり競技大会」 職種:電子回路組立て	平成29年8月3日と4日に開催された第12回若年者ものづくり競技大会の電子回路組立て職種に参加した。本競技の参加報告を行う。	後藤 ちひろ	阿部 功
3	13:20 ～ 13:30	競技会参加報告 「若年者ものづくり競技大会」 職種:オフィスソフトウェア・ソリューション	平成29年8月3日と4日に開催された第12回若年者ものづくり競技大会のオフィスソフトウェア・ソリューション職種に参加した。本競技の参加報告を行う。	池田 崇大	岡崎 徹
休 憩 13:30～13:40					
4	13:40 ～ 13:50	電子情報科の今年度の卒業研究統一テーマ 「IoT Town」	電子情報科の卒業研究では、プロジェクト型課題解決実習(PBL)を導入し、3つの学習分野に沿ったテーマを設定している。PBLの目的や取り組みの詳細および各テーマについての説明を行う。	齋藤 俊希	全 員
アンケート記入時間 13:50～13:55					
5	13:55 ～ 14:35	会社名: Life System Solutions テーマ: 耐障害性に優れたSDNシステムの 学内ネットワークへの導入	従来の学内ネットワークにあるファイアウォールやL3スイッチ等の機能を、OpenFlowスイッチへ統合し、OpenFlowコントローラで制御することによって、耐障害性に優れたネットワークを構築した。メインサーバが停止してしまった際でも、自動的にサブのサーバに切り替わり、シームレスな通信が可能になる。	佐藤 瑠偉 鈴木 彩香	開沼 和広 芝田 浩
アンケート記入時間 14:35～14:40					
休 憩 14:40～14:50					
6	14:50 ～ 15:30	会社名: Induction Engineering テーマ: イベント順路案内システム - 通常時の催し物案内と災害時の避難支援 -	来場者に催し物の案内と災害時の避難支援ができる順路案内システムを開発した。来場者にBLEビーコンを所持してもらい、希望するルート案内を案内端末で行えるようにした。災害時は、緊急警報ボタンを管理者が押すことで、案内端末を災害用表示に切り替え、来場者に災害の発生を迅速に伝えることが可能になる。	阿部 俊輝 加藤 裕太 後藤 ちひろ 齋藤 俊希	吉田 明弘 渡辺 雄二
アンケート記入時間 15:30～15:35					
7	15:35 ～ 16:15	会社名: Future Next テーマ: 誰でも楽しく多くの催し物を回ることができるスタンプラリーシステム	昨年度作成したピンゴ形式のスタンプラリーをもとに、スタンプラリー参加者に多くの催し物を見もらうために、イベント通知機能等を追加し改良した。また、誰でもスタンプラリーを楽しめるようにスタンプラリー専用端末も開発した。	渡部 和良 池田 崇大 丸藤 和也 櫻井 悠太郎	阿部 功 岡崎 徹
アンケート記入時間 16:15～16:20					

16:25 講 評

16:40 閉 会